

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

栃木県 壬生町

自治体名： 栃木県壬生町

担当課名： 生涯学習課

電話番号： 0282-81-1872

1.自治体の基本情報

| | |
|------------------------|---------------------------|
| 面積 | 61.06 km ² |
| 人口 | 38,199 人 |
| 公立中学校数 | 2 校 |
| 公立中学校生徒数 | 1,048 人 |
| 部活動数 | 27 部活 |
| 市区町村の協議会・検討会議等の設置状況 | 令和 5 年度 検討委員会制定済 |
| 市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況 | 令和 6 年 7 月 18 日 推進計画策定 |

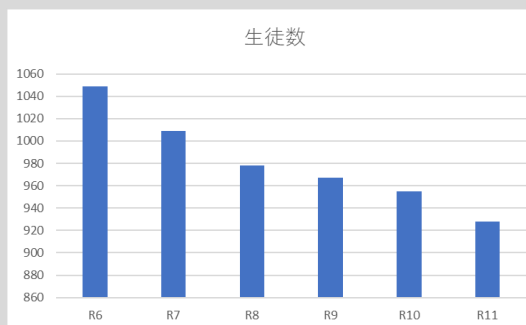
地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

現在、町には中学校が 2 校あるが、少子化の影響等で運動部活動部員数が減少傾向にあることに加えて、経験のない教員の指導に係る負担や長時間労働などで学校教師の負担も大きいことから、部活動の在り方を見直し、生徒が楽しんで活動できる場を作ったり、教員の働き方改革を推進したりする必要がある。

現在、国の指針や県の移行プランに合わせた町の体制作りが急務となっているが、包括的に受け入れ可能な団体が町内に存在しないことから、学校や生徒のニーズを把握した上で改めて地域指導者を確保する必要がある。

また、アンケートから最低限の費用負担による実施を望んでいる状況や地域移行の有無による金銭負担の不均衡の問題についても指摘を受けていることを踏まえ、保護者に理解をいただける運営体系について構築する必要がある。

壬生町内中学校生徒数の推移について



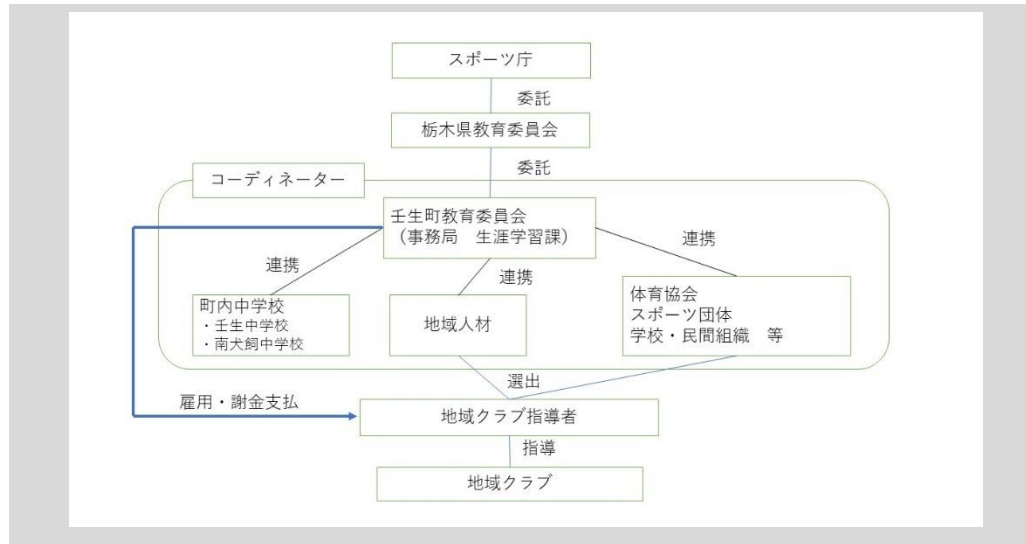
壬生町内における生徒数の推移について試算した結果は左記のグラフに記載したとおりです。なお、生徒数は今後 5 年間で 11.5% 減少することが想定されます。

※令和 6 年 4 月 1 日現在の町内児童生徒数より試算。

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- ・全体の統括（生涯学習課）
- ・コーディネーター雇用、指導者雇用・配備（生涯学習課）
- ・学校との連携調整（生涯学習課・学校教育課）
- ・学校施設に関すること（学校教育課・生涯学習課）
- ・スポーツ団体との調整（スポーツ振興課）

◎首長部局

- ・地域クラブ活動移行の全業務を教育委員会で担当しているため、首長部局の担当課はありません。

年間の事業スケジュール

| | |
|---------------------|--|
| 令和6年4月 | コーディネーター2名を配備 |
| 令和6年4～5月 | 学校との実施種目調整 スポーツ団体との情報交換 |
| 令和6年7月 | 第1回検討委員会実施 壬生町「休日部活動」の段階的な地域移行に係る基本方針 策定 保護者説明会(南犬飼中学校) |
| 令和6年8月 | 保護者説明会(壬生中学校) |
| 令和6年8～10月 | 町内中学校での実証事業開始 ・壬生中学校女子バレーボール部 ・南犬飼中学校男子バスケットボール部 (移行期間として学校顧問との実施内容調整を実施) |
| 令和6年11月 ～ 令和7年1月 | 実証事業の実践・検証 |
| 令和7年2月 | アンケート調査 実施 |
| 令和7年3月 | 第2回検討委員会実施 |

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

| | | | |
|----------|--|-------------|------|
| 中学校数 | 2校（壬生中学校・南犬飼中学校） | 実施した地域クラブ総数 | 2クラブ |
| ケース別クラブ数 | A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数） | | 2クラブ |
| | B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等） | | 該当なし |
| 全体の指導者数 | 4人 | 全体の運営スタッフ数 | 4人 |

②各クラブに関すること

| 中学校名 | クラブ名 | 運営団体種別 | 種目 | 実施回数 (平日・休日) | 実施時間帯 | 参加者 (学年別) | 実施期間 | 指導者数 | 運営 スタッフ数 | 会費 | 大会参加方法 |
|------------|----------------------------------|--------|--------------|------------------------------|---------------|----------------|-------------|------|-------------|-------------------|----------------------|
| 壬生中学校 | 壬生町地域 クラブ（女子 バレーボール） | 町直営 | バレー ボール | 休日 17回 (R7.1.31 までの実績) | 主に土曜日 の午前中 | 2年生7名 1年生7名 | 令和6年 8月～ | 2人 | 2名 | 実証期 間のため 無料 | 中体連：部活動 その他：地域クラブ |
| 南犬飼 中学校 | 壬生町地域 クラブ（男子 バスケット ボール） | 町直営 | バスケット ボール | 休日 22回 (R7.1.31 までの実績) | 主に土曜日 の午前中 | 2年生7名 1年生6名 | 令和6年 8月～ | 2人 | 2名 | 実証期 間のため 無料 | 中体連：部活動 その他：地域クラブ |

2.実証内容と成果

取組状況

●活動概要（壬生中学校）

| | |
|-----------------|---|
| 地域クラブ活動で実施した種目 | 女子バレーボール |
| 指導者の主な属性 | 地域クラブ指導者（町で直接雇用） |
| 運営類型 | 市町村運営型（地域団体・人材活用型） |
| 活動場所 | 壬生中学校体育館 |
| 平均的な活動回数 | 月4回程度 |
| 1人あたりの参加会費等（年額） | 参加費の保護者負担を行わない。 ※町で負担 |
| 保険について | ・生徒 町加入の総合賠償責任保険を適用（町事業として実施のため） ・指導者 労災保険加入 |

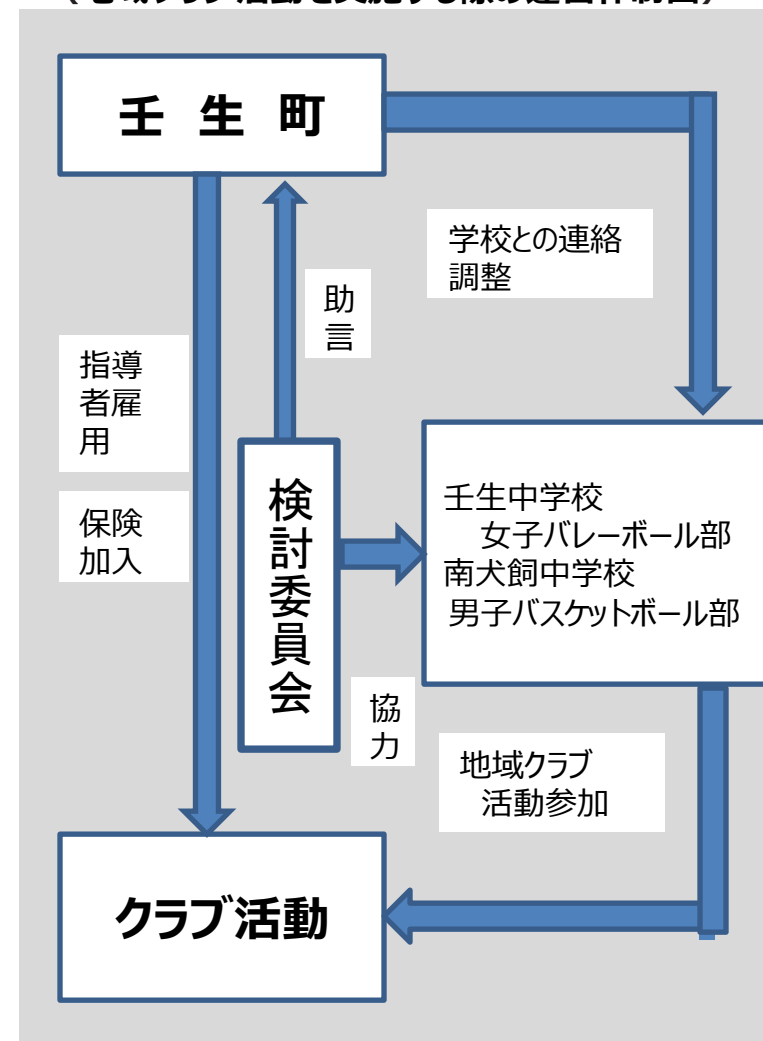
●活動概要（南犬飼中学校）

| | |
|-----------------|---|
| 地域クラブ活動で実施した種目 | 男子バスケットボール |
| 指導者の主な属性 | 地域クラブ指導者（町で直接雇用） |
| 運営類型 | 市町村運営型（地域団体・人材活用型） |
| 活動場所 | 南犬飼中学校体育館 |
| 平均的な活動回数 | 月4回程度 |
| 1人あたりの参加会費等（年額） | 参加費の保護者負担を行わない。 ※町で負担 |
| 保険について | ・生徒 町加入の総合賠償責任保険を適用（町事業として実施のため） ・指導者 労災保険加入 |

- 基本方針 町の学校部活動と同様に1種目あたり指導者を2名配備
 - 壬生中学校 地域指導者2名（両名とも元外部指導者）
 - 南犬飼中学校 地域指導者1名 + 学校教員（兼業申請）

●運営体制図

（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

コーディネーターによる中学校・町スポーツ関係団体との連絡調整

- ・本町が運営主体となり、各中学校1部の休日の部活動を地域クラブ活動として実施した。
- ・地域クラブ指導者を町スポーツ協会や県の地域クラブ活動指導者バンクから探し出し、壬生町会計年度任用職員として任用の上、各地域クラブに配置した。
- ・地域クラブ活動保護者に地域移行の目的や学校部活動との違いを説明して理解を求めた。

取組の成果

- ・休日の学校部活動から地域クラブ活動に移行する部を決定する際、事前に学校や部活動顧問の現状を 学校長と話し合うことで、地域移行に適する部を選定することができた。
- ・町スポーツ協会から地域指導者を見つけることはできなかったが、県の地域クラブ活動指導者バンク等を通して優れた専門性と人間性をもった地域指導者を探し出すことができた。
- ・保護者への説明会を実施したことで、休日部活動の円滑な地域移行をすることができた。

特に工夫した事項

- ・学校長と地域クラブ活動について情報交換を密に行った。特に地域クラブ指導者と部員との信頼関係や顧問の兼職兼業について丁寧に協議した。

コーディネーターの具体的な動きの実績

- ・コーディネーターが地域クラブ活動場所を訪問し、地域クラブ指導者や部顧問と定期的に面談して、地域クラブ活動の成果や課題を共有した。

今後の課題と対応方針

- ・町スポーツ協会等に、本町の地域クラブ活動の運営や地域指導者の確保について引き続き協力を依頼する。
- ・部顧問・地域クラブ指導者・部員・保護者の連絡がスムーズに取れるようICT等の方法を確立する。
- ・地域移行の際の保護者費用負担について理解の促進を図る。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

町スポーツ協会・県地域クラブ活動指導者バンクの活用及び外部指導員への依頼

- ・女子バレーボール部、男子バスケットボール部が休日の部活動を地域クラブ活動として地域移行することに決定した後、町スポーツ協会に当該種目の地域指導者の推薦を依頼した。
- ・栃木県地域クラブ活動指導者バンクに当該種目の地域指導者の紹介を依頼した。
- ・中学校で当該種目を指導している外部指導員に、地域クラブ活動指導者としての指導を依頼した。

地域クラブ活動の地域指導者登録募集の町ホームページへの掲載

- ・壬生町は令和6年から休日の部活動を地域クラブ活動として段階的に地域移行する旨と、それに伴う地域クラブ指導者の登録募集を町ホームページに掲載した。

人材バンクの人数 及び年齢構成

部活動指導員及び県バンク登録者を中心に10名が登録。（内町バンク直接登録は1名）
年齢は全員が40歳以上で、半数が60代以上となっている。

種目および 資格有無

種目については水泳、バレー、陸上競技と幅広い登録状況。また、文化部関連の指導者（吹奏楽等）も登録あり。

全ての登録者を有資格者とするのが困難であることから、教員経験者や過去の指導実績を加味した登録を行った。

取組の成果

- ・町スポーツ協会からの当該種目の地域指導者の推薦は得られなかった。
- ・栃木県地域クラブ活動指導者バンクにバスケットボール部の地域指導者を紹介いただき、地域クラブ活動指導者として配置することができた。
- ・外部指導員として中学校でバレーボールを指導していた方に、地域クラブ活動指導者になってもらった。
- ・本町で中学校の休日部活動の段階的な地域移行が始まり、町が募集を行っていること知らせることができた。また、地域指導者として地域クラブへの参加を呼び掛けることができた。
- ・期間内に周知経由での地域クラブ指導者登録者は1名であり、町外より1件の問い合わせがあった。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

指導者研修の内容

- ・採用段階で服務規程や事業に対する説明を行うとともに、体罰・ハラスメント禁止についても指導を行った。
- ・地域クラブ開始から初めの1か月間については、移行期間として部活動顧問と一緒に指導するようにした。

受講者の声

- ・採用段階で事業に対する説明を十分に行うことにより、円滑に地域クラブ活動が進められた。
- ・移行期間を設けることにより、部活動と地域クラブの指導内容のすり合わせが出来た。

今後の課題と対応方針

- ・各運動部や文化部の休日部活動を円滑に地域移行するため、各種目の地域指導者を継続して町民から募集するとともに、町スポーツ協会、町文化協会等に地域指導者の推薦を依頼していく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

壬生町部活動地域移行検討委員会の開催

地域の関係団体等と連携しながら中学校の休日の部活動を段階的に地域移行するため、部活動地域移行検討委員会を開催し、成果と課題について協議し共有し合った。

取組の成果

第1回部活動地域移行検討委員会…令和6年7月18日開催

- (1) 休日の中学校部活動地域移行の全体像
- (2) 壬生町部活動地域移行の進捗状況（国庫補助の報告）
- (3) 壬生町部活動地域移行推進計画
- (4) 壬生町「休日部活動」の段階的な地域移行に係る基本方針
- (5) 令和6年度中学校部活動指導員の配置
- (6) 壬生町部活動の地域指導者（部活動指導員・地域クラブ指導者）の研修
- (7) 休日の中学校部活動地域指導者の職務・服務等について

第2回部活動地域移行検討委員会…令和7年3月17日開催

特に工夫をした点

町内2中学校長を委員長・副委員長に任命し、中学校の休日部活動の地域移行に関して、学校現場の実情を説明・理解してもらいながら、各関係団体・分野の代表者に適切な意見をもらえるようにした。

今後の課題と対応方針

今後各運動部や文化部の休日部活動を地域移行するために、町スポーツ協会、町文化協会等に地域クラブ指導者を推薦してもらえよう、検討委員会から公式に働きかける。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

取組事項

町教委事業実施による費用削減

「総合賠償責任保険」の適用となるため保険料負担が不要。

アンケート及び事業結果を元にした経費試算

保護者からのアンケート調査及び事業実施結果を元にして経費試算を行った。

地域クラブに係る経費

■イニシャルコストの分析

現時点では町教育委員会直営で実施することを想定していることから、設備やシステム等に関する費用負担は想定していない。

しかしながら、町全体へ展開するにあたり、民間委託による運営となる可能性もあることから、その際に必要な経費について継続して検討していきたい。

■ランニングコストの分析

現時点では、ランニングコストはコーディネーター及び指導者謝金のみであるが、全部活へ事業展開するにあたっては①指導者保険料、②専用アプリ使用料、③事務費（消耗品、登録費用等）が必要になると思われる。

収支バランス

現時点では実証事業の段階であることから全て公費負担としている。今後は受益者に対して、一部費用負担を求めるとともに、補助金を含めた資金調達について検討する必要がある。

持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

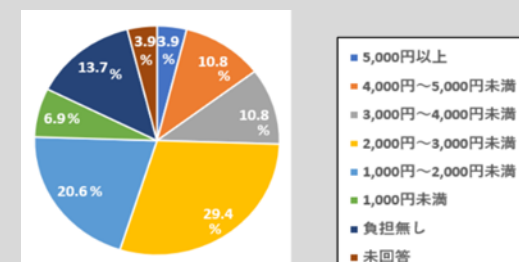
令和6年度アンケートで受益者負担について質問した結果、「1,000～2,000円」と「2,000～3,000円」の合計が半数となっていることから、受益者負担は月額2,000円～3,000円程度が妥当と思われる。

そこで、受益者負担を月額2,000円とした場合、総費用の1/2が不足となり、負担を月額3,000円としても不足額は1/3までしか圧縮されないことから、補助金や民間からの資金調達について検討する必要がある。

（町負担を1/4程度と想定）

アンケート結果抜粋（保護者対象）

問 休日の部活動が地域移行する場合、保護者の負担額（月額）はどの程度が妥当と考えますか。



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等②

取組の成果

- 地域クラブ活動費用を公費負担とすることで、移行種目とそれ以外の部活との公平性を保つことができた。また、既存施設等を活用費経費節減に努めた。
- アンケート実施により、当町における保護者が考える受益者負担金額を把握することが出来た。
- 1年間を通じた事業実施に伴い、人件費の費用感を把握することが出来た。しかしながら、今年度実施内容は実証事業として小規模であることから以下の点で費用負担についてより検討する必要がある。
(検討課題)
 - ・クラブ数増加によるコーディネーターの事務量増加（適正人数の検討）
 - ・事業拡大に伴う必要経費（専用アプリ使用料 等）
 - ・民間委託となった場合の経費（セキュリティ対策費用、保険料 等）

今後の課題と対応方針

- ・実施内容から収入・支出について一定の知見を得ることが出来たが、地域クラブを全部活動へ展開するにあたってより詳細な費用把握に努める必要がある。
- ・受益者負担となった場合の困窮者世帯に対する取り組みについて、先進地を参考に支援内容について検討を行っていきたい。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 キ：学校施設の活用等

取組事項

地域クラブ活動の活動場所に学校施設を利用

- ・地域クラブ活動の活動場所として、平日部活動を行っている学校施設（体育館等）を利用した。
- ・学校施設入口の鍵がロックナンバー式で毎月番号が変わるため、地域クラブ指導者に町教育委員会からロックナンバーを連絡して施設の施錠開錠をおこなった。
- ・地域クラブ指導者に、事前にAEDや消火器等の設置場所を示し、緊急時の対応に備えた。

取組の成果

- ・地域クラブ活動に参加する生徒が、平日の学校部活動と同じ場所で活動に取り組めるため、安心してクラブ活動が実施できた。
- ・地域移行していない部も並行し活動しているため、事故等が発生した場合でも他の部の顧問（教員）の支援を受けることが出来た。

今後の課題と対応方針

- ・地域クラブ指導者が生徒のケガの治療などで職員室や保健室等に入らなければならない時、教員が学校に他の部の顧問（教員）がいなかった場合の対応をどうすればよいかが課題である。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

- ・地域クラブへ移行する部活動の保護者に対し町教育委員会が事業趣旨を説明することで、保護者の理解を得て円滑に地域移行することができた。一方地域移行した部活動以外の保護者に対する周知は不十分であった。
- ・地域クラブ指導者を、2校、2クラブに、4人配置できた。
4人の内1名は、兼職兼業を希望した教員のため、その場合は施設の開設・施錠を円滑に行うことができた。
- ・専門的な指導を受けることができ、部員から技能が向上したという喜びの声が聞かれた。該当の地域クラブ指導者は、以前より外部指導員としてチームに関わっていたことからコミュニケーションが取れている。一方選手たちの受け取り方には温度差はあり「厳しい」と感じる生徒もいた。別のクラブでは、「どんな活動をしたいのか」について、指導員と生徒・保護者間で共有が図れず、探り合いのような関係で半年が終わってしまった。教員以外の指導者が生徒たちの中に入って信頼関係を築くことの難しさを感じられた。
- ・従来の教員が指導を行う学校部活動から、参加費を保護者が負担（受益者負担）する地域クラブへスライドしていくことへの理解を得るための説明を行っていく必要がある。
- ・今後、全運動部の地域移行を実現するには、まだまだ課題があるように感じられる。国や県の動きを見ながら、本町の地域移行をその都度修正していく必要がある。

●成果の評価

- ・地域移行する部活動を選定する際、町教育委員会と学校長が丁寧に協議し、顧問が競技経験・指導経験がない部に適切に地域クラブ指導者を配置することができた。
- ・地域クラブ指導者の専門性を生かした技術指導が、部員の活動に対する意欲や技術向上につながった。
・大会や練習試合で地域クラブ指導者が審判を行った結果、顧問（兼職兼業教員）が部員指導に集中できた。
- ・各地域クラブへ指導者を2名配置することで、どちらかの指導員が指導できない場合でも活動を行えた。
また、地域移行する部活動の顧問（教員）に対し学校長が丁寧に休日クラブの指導について説明することで顧問の兼職兼業許可申請が円滑になされた。
- ・地域移行する部活動の保護者に対し、地域移行の趣旨を説明会で説明し保護者の理解が得られた。
- ・地域クラブ指導者に対して、採用時及び年1回の研修会を実施し、身分・職務内容・服務、また安全管理に関する留意事項などについて研修を行い、地域クラブ指導者に適切な指導の在り方を示すことができた。
- ・コーディネーターが活動場所（学校）を訪問し、休日部活動指導員、顧問と定期的に面談をすることで、その都度問題解決を図ることができた。
- ・ウェブサイトから地域クラブ指導者の募集要項及び応募用紙にアクセスできるようにし、町外居住者を含め10名登録の人材バンクが作成できた。
- ・「部活動地域移行検討委員会」で地域移行の現状、成果と課題を示し、今後の方向性について決定できた。
- ・地域クラブの費用（人件費及び保険費用）は町負担とし学校部活動と費用負担に差が出ないようにした。
- ・地域クラブの活動場所及び施設は学校部活動と同様学校施設を利用したため、部員は違和感な参加できた。
- ・学校施設の施錠・開錠は、休日部活動指導員に鍵を預けるか、ロックナンバー式の鍵の解除ナンバーを地域クラブ指導者に連絡するかで対応した。またAEDや消火器の設置場所を事前に地域クラブ指導者に示した。

●今後に向けて

- 2校各1部活動の休日部活動に、2名ずつの枠で指導者を配置して地域クラブ化することにより実証事業を行ってきた。しかしながら、顧問と地域クラブ指導者の指導方針等に関する共通理解が不十分であったり、休日部活動指導員の指導に対する保護者の不満が出てきたりと、問題が多く発生した。この状況で町内中学校のすべての休日部活動を地域クラブとして地域移行しようとした場合、各部に指導者が確保できなかったり、保護者の費用負担に関する理解が得られなかったりすることが予想され、解決すべき課題は山積みである。それらの課題解決の具体策として、今後以下の事項に取り組む。
- ①小学6年生とその保護者に中学校入学前に「部活動地域移行」及び「保護者費用負担」についての説明会を開催する。また中学校でも保護者が集まる機会に説明会を開いて周知する。
 - ②町の広報誌やホームページに「地域移行」及び「費用負担」に関する情報を載せ、周知を図る。
 - ③ウェブサイトによる地域クラブ指導者募集を継続するとともに、町スポーツ協会への地域クラブ指導者の推薦を引き続き依頼していく。
 - ④部活動顧問・地域クラブ指導者・保護者間の連絡体制の強化としてチャットアプリの利用を促進する。
 - ⑤休日の部活動を地域移行する際、保護者に負担を依頼する場合は、公平性を保つためには、町内一斉に部活動を地域へ移行する必要がある。

2.実証内容と成果①

参考資料（活動写真）



2.実証内容と成果②

参考資料（アンケート結果・協議会資料等抜粋）

壬生町部活動地域移行検討委員会

○構成員 地域スポーツ団体代表2名、地域文化活動団体代表2名、学校関係者4名（中学校長、部活動担当教諭）
PTA代表4名（中学校・小学校PTA会長等）、元学校職員1名、教育長、教育次長

計 15名

○検討内容

- ・部活動の地域移行に係る調査研究に関すること。
- ・部活動の地域移行に係る仕組みづくりに関すること。

【検討委員会 資料抜粋】

資料1

| 国及び県の方針を踏まえた休日の中学校部活動地域移行の全体像 | |
|---|---|
| 「地域の子どもたちは、学校を含めた地域で育つ」という意識の下、持続可能な体制の構築及び環境整備に取り組んでまいります。 | |
| 学校部活動 | 地域移行した休日の中学校部活動 |
| 位置付け 学校教育の一環 | 位置付け 社会教育の一環 |
| 運営団体 学校 | 運営団体 実施団体 |
| 対象 当該校の生徒 | 対象 令和6年度は町教育委員会 令和7年度は町教育委員会 令和8年度は町教育委員会 |
| 指導者 学校教員 部活動指導員 | 指導者 地域指導者（部活動休日指導員） ○教員の業務負担も可能 |
| 活動場所 学校施設 | 活動場所 学校施設 ○地域移行の影響によって、学校外での活動も検討 |
| 活動日 平日4日、休日1日 | 活動日 休日1日 ○平日は原則学校部活動 |
| 活動時間 平日2時間程度 休日3時間程度 | 活動時間 3時間程度 |
| 補償 災害共済給付 | 補償 商業保険に別途加入 （学校教育活動外のため令和6年度は町が負担） |
| 指導者の報酬 休日のみ県費による部活動指導員 | 指導者の報酬 運営団体より支払（令和6年度は会計年度任用職員として町が雇用し町費負担） |

資料2

| 壬生町部活動地域移行の進捗状況 | |
|------------------------------------|--|
| 1 部活動指導員の配置 | 令和5年度より、壬生町では国庫補助事業（負担率：国1/3、町1/3、）を活用し、部活動指導員を配置している。 令和6年度は、国庫補助事業を活用し、運動部5名、文化部2名を採用している。 （実績） 主 生 中学校 … バドミントン部、剣道部、ソフトボール部、水泳部、美術部 南大綱中学校 … 女子バレーボール部、秋季運動部 ※壬生中・美術部は、指導者の都合上、短時間勤務2名で1名分の指導を実施。 |
| 2 部活動地域移行支援員（コーディネーター）と部活動休日指導員の配置 | 令和6年度より、国庫補助事業「地域クラブ活動への移行に向けた実証事業」を活用し、運動部の休日部活動地域移行事業を実施する。事業内容としては部活動地域移行支援員の配置を含む運営団体・実施主体等の体制整備、指導者の確保、参加費用負担への支援等が挙げられる。壬生町では、令和6年度当初より部活動地域移行支援員として、会計年度任用職員2名（週3日勤務）を配置し、学校、指導者との調整を始めとした部活動地域移行の調整を行っている。 また、各中学校において1部活動あたり2名の部活動休日指導員を配置して地域移行を行った上で、今後の地域移行について検討していく。 （予定） 主 生 中学校 … 女子バレーボール部 南大綱中学校 … 男子バスケットボール部 |

資料3

| 壬生町部活動地域移行推進計画 | |
|--------------------|---|
| 2023.9.25 壬生町教育委員会 | |
| 令和6（2024）年度 | |
| 1 | 両中学校各1部活動（2部活動）地域移行継続 |
| 2 | 1部活動につき、2名の地域人材（1名2.4万円×2名＝10.8万円） |
| 3 | 他の希望のある部活動は、教員・部活動指導員で休日部活動をみる |
| 4 | 両中学校各1部活動（2部活動）の休日の部活動会費を町で負担 （移行前の部活動と移行後の部活動との不均衡をなくするため） |
| 5 | 町生業学芸課に休日の部活動地域移行支援員（町会計年度任用職員）を2名配置 |
| 6 | 令和7（2025）年度以降の地域移行に向けた準備 ・移行希望調査（各部活動顧問との面談） ・希望指導者調査 ・公費徴収方法の検討 ・謝金支払いの検討 ・地域指導者さがし ・スポーツクラブ、スポーツ少年団等との話し合い |
| 7 | 壬生町休日部活動の段階的な地域移行に係る基本方針の策定 |
| 8 | 種目別、指導者バンクの設立（各専任校） |
| 9 | 令和7（2025）年度の全ての移行しない部活動の部活動指導員の予算要望と入さがし |
| 10 | 地域指導者と教員の指導円滑化会議の創設 |
| 令和7（2025）年度 | |
| 1 | 両中学校各1部活動（2部活動）地域移行継続 |
| 2 | 他の部活動は、できるだけ部活動指導員を活用して休日の部活動を実施 部活動指導員を希望しない部活動は顧問が休日もする ※ 部活動指導員を多くの希望する部活動に配置することで、いつでも地域移行可 ※ 部活動指導員は、平日も指導可能 ※ 部活動指導員を多く活用することで、保護者の会費負担を大幅におさえられる |
| 3 | 種目別、指導者バンクの充実 |
| 4 | 部活動指導員の紹介、調整と部活動指導員の予算取り準備 |
| 5 | 地域指導者と教員の指導円滑化会議の実施（年間1回予定） |
| 令和8（2026）年度以降 | |
| 1 | 国の補助金を確認し、保護者が支払う会費負担への補助等が確認され次第、全ての休日部活動について一斉に地域移行をすすめる |
| 2 | 地域指導者、生徒、教職員のすべてが確りして生徒にとって最高の指導環境づくりをめざす |

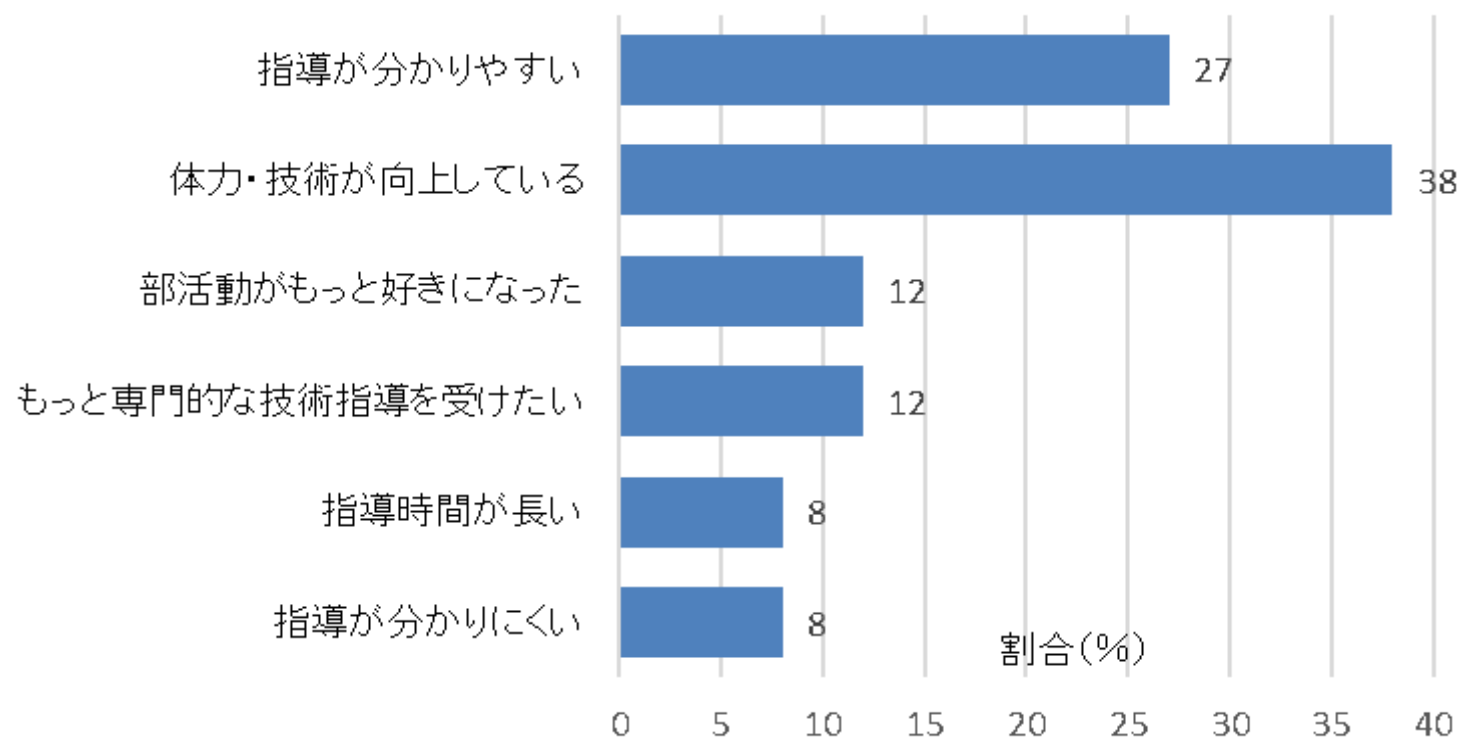
参考資料（アンケート結果）

【令和 6 年度 休日の地域クラブ活動に関するアンケート】

対象者：学校長、教職員、生徒（1・2年生全員）、保護者（1・2年生全員）

実施期間：令和7年1月31日（金）～2月13日（木）

地域クラブ活動に参加してどのように感じていますか。（生徒：複数選択可）



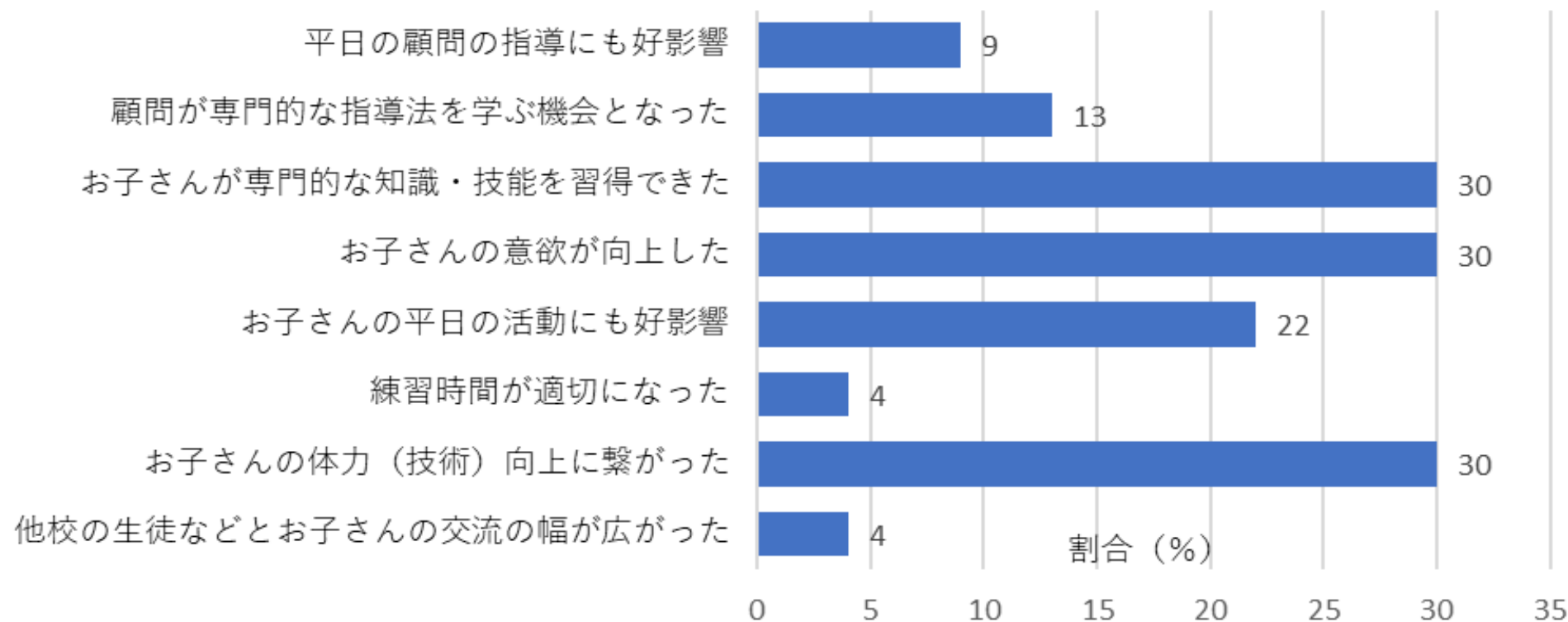
参考資料（アンケート結果）

【令和 6 年度 休日の地域クラブ活動に関するアンケート】

対象者：学校長、教職員、生徒（1・2年生全員）、保護者（1・2年生全員）

実施期間：令和7年1月31日（金）～2月13日（木）

休日の地域クラブ実証事業に参加してよかった点は何ですか。（保護者：複数選択可）



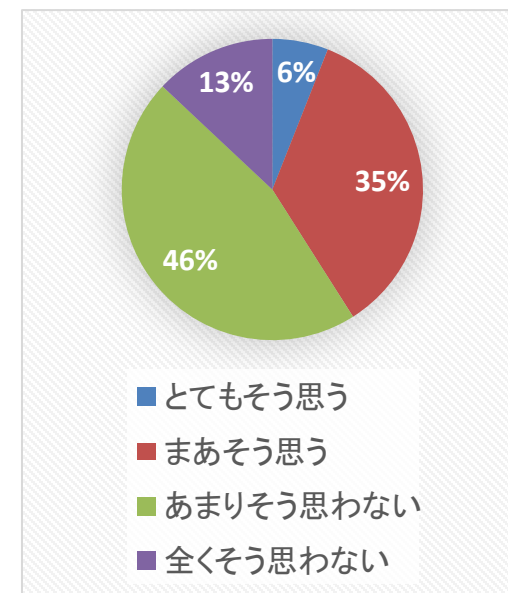
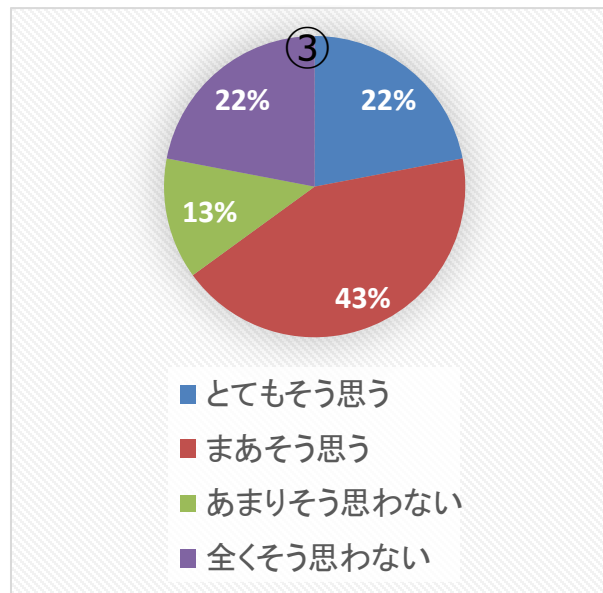
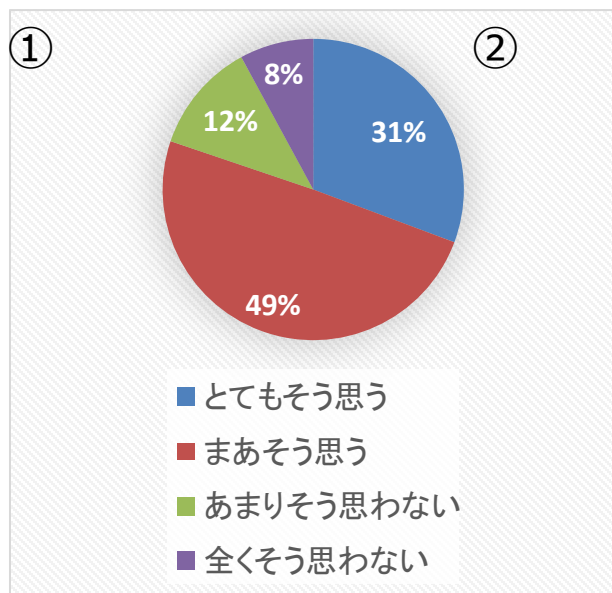
参考資料（アンケート結果）

【令和6年度 休日の地域クラブ活動に関するアンケート】

対象者：学校長、教職員、生徒（1・2年生全員）、保護者（1・2年生全員）

実施期間：令和7年1月31日（金）～2月13日（木）

- ① 次年度も休日の地域クラブ活動に参加したいと思いますか。（クラブ実施生徒）
- ② 次年度も休日の部活動は地域クラブ活動として実施してほしいですか（クラブ実施保護者）
- ③ 次年度、休日の部活動は地域クラブ活動として実施してほしいですか（クラブ未実施保護者）



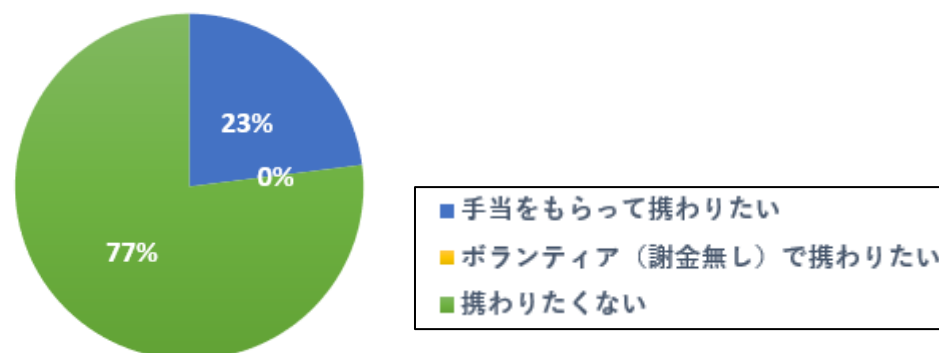
参考資料（アンケート結果）

【令和6年度 休日の地域クラブ活動に関するアンケート】

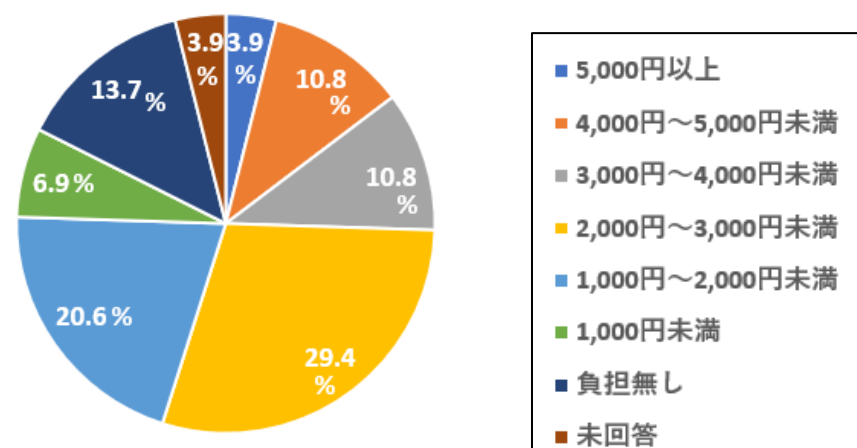
対象者：学校長、教職員、生徒（1・2年生全員）、保護者（1・2年生全員）

実施期間：令和7年1月31日（金）～2月13日（木）

①休日の部活動が地域に移行した
際に指導に携わりたいですか
（教職員）



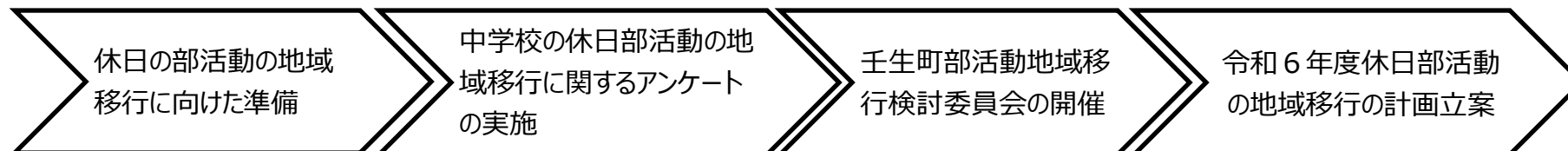
②休日の部活動が地域移行する場合、
保護者の負担額（月額）はどの程度
が妥当だと考えますか
（保護者）



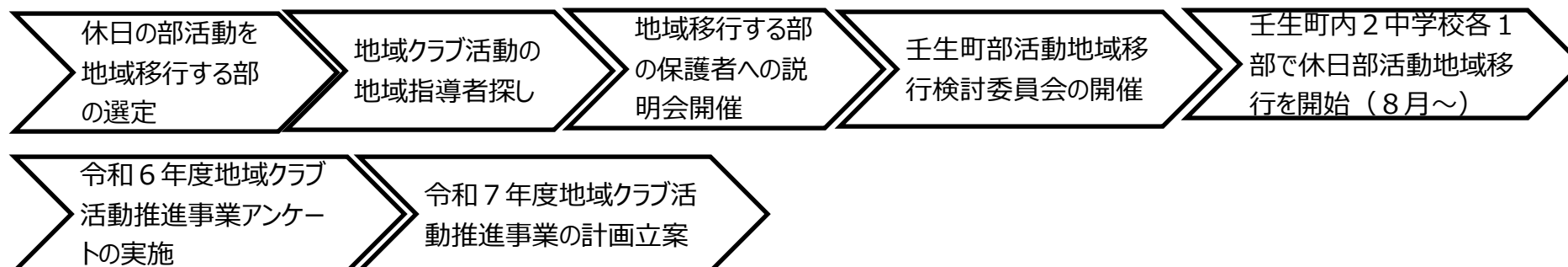
2.実証内容と成果④

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

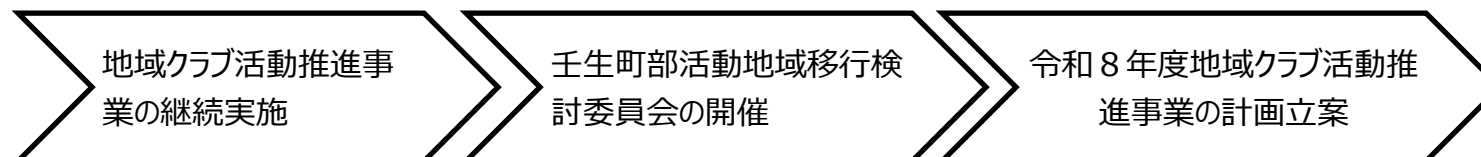
令和5年度



令和6年度



令和7年度



3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けた今後のロードマップ

| い | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 |
|-----|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------|--|
| 運動部 | 部活動指導員の配置 壬生中 1 部 南犬飼中 1 部 | 部活動指導員の配置 壬生中1+3部 南犬飼中1部 | | |
| | 壬生町部活動地域移行検討委員会の開催 | | | |
| | 部活動地域移行の先進地視察研修 群馬県吉岡町 | 休日の運動部活動の地域移行実証事業 壬生中 1 部 南犬飼中 1 部 | | |
| | 休日の中学校部活動の地域移行に関するアンケート実施 | 部活動地域移行支援員 2 名を生涯学習課に配置 | | 国の動向を確認し、保護者が支払う会費負担への補助等が確認され次第、全ての休日部活動を一斉に地域移行をすすめる |
| | | 地域移行についての保護者説明会の開催 | 町スポーツ協会等が地域クラブの受け皿となる環境整備の検討 | 地域指導者、生徒、教職員のすべてが輝くそして生徒にとって最高の指導環境づくりをめざす |
| | | 壬生町「休日部活動」の段階的な地域移行に係る基本方針の制定 | | |
| | | 休日の地域クラブ活動に関するアンケート実施 | | |
| | | 壬生町地域指導者バンクの設立 | | |
| 文化部 | 部活動指導員の配置 壬生中 1 部 | 部活動指導員の配置 壬生中 1 部 南犬飼中 1 部 | | |
| | | | | |